令和５年度

事　業　計　画　書

社会福祉法人　松阪市社会福祉協議会

◆◆◆◆◆◆◆◆目　　次◆◆◆◆◆◆◆◆

Ｐ 1　　第１章　　事業方針

Ｐ 2　　第２章　　法人経営部門

1　　部門の方針

2　　事業シート

Ｐ 8　　第３章　　福祉のまちづくり部門

1　　部門の方針

2　　事業シート

Ｐ 26　　第４章　　在宅福祉サービス部門

1　　部門の方針

2　　事業シート

Ｐ 41　　資料１　松阪市社会福祉協議会　第Ⅴ期経営計画体系図

第１章　事業方針

令和４年度は、まだ新型コロナウイルス感染症により、本会の事業や地域の活動にも影響がありました。しかし、５月には新型コロナウイルスの感染症指定が２類から５類へと変更される見通しであり、本会の事業や地域の活動もより活発になっていくと見込まれます。このような中、令和５年度は、『第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画』と『第Ⅴ期経営計画』の計画期間初年度にあたり、本会にとって両計画の達成に向けてスタートを切る重要な年度となります。

このため本会は、重層的支援体制の整備など地域共生社会の実現に向けて、福祉のまちづくり部門の課を一課から二課体制とし、すべての支所にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置するとともに地域担当者を増員するなど組織、配置体制を見直しました。

また、事業では、令和４年度から始まった「福祉まるごと相談室」との連携強化や、松阪市成年後見センターへの中核機関の設置、ＰＤＣＡサイクルによる業務の継続や新しい業務を追加するなど、引き続き、行政をはじめ住民自治協議会、地域包括支援センターなど様々な機関・団体と協力しながら、事業計画を着実に実施していきます。

＜ 使命 ＞

地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織･関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進すること

＜ 第Ⅴ期経営計画　目標 ＞

目標１　市・社協・地域が一体となりその人らしい生活を送ることができる地域共生社会を実現する

目標２　相談支援・権利擁護支援の専門的機関として個別支援の役割を果たし、仕組みづくりのパイプ役を担う

目標３　魅力ある質の高い福祉サービスを適切に提供することで健全な事業経営、安定した財源を確保する

目標４　持続可能な事業運営のために経営基盤を強化する

目標５　質の高い福祉サービスを提供するため、人材の採用と定着、育成に取り組む

第２章　　法人経営部門

1　部門の方針

法人経営の要として、今後も安定して事業運営が継続できるよう他の部門･事業と連携して財源の確保と適切な予算の執行に取り組んでいきます。

施設･設備の面では、令和５年度に現行の三雲・飯南・飯高支所で指定管理施設が期間満了となりますが、引き続き地域福祉の拠点を確保していくため、次期指定管理期間(令和６年度～令和 10 年度)の受託に向けて取り組んでいきます。

人員･人材の面では、職員の確保は喫緊の課題であり、将来に向けた積極的な採用と職員の専門性の向上を図るとともに研修等の人材育成に取り組み、サービスの向上に努めていきます。

また、災害や感染症流行時における事業継続について危機管理体制を強化します。

2　事業シート

(１)法人の運営

事業名	法人運営事業　(本所、松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所)			
経営計画との関連(資料 1)	目標	４、５	予算額(千円)	296,464
	実施内容	目標４と５のすべての項目		

【目的･方針】

法人及び支所運営の中心になる事業として、『第４期松阪市地域福祉計画･地域福祉活動計画』、『第Ⅴ期経営計画』の達成に向け、本事業が事業を横断して法人全体の調整機能を担っていきます。また、法人全体の資産管理と適正な予算の執行に努めます。

【実施内容】

①理事会、評議員会、監事会(監査)等の役員による会議等の開催
②学校訪問等による求職者へのアプローチ、求人掲載ツールの充実や人材紹介の利用等、本会に必要な人員･人材を確保
③ストレスチェックや健康診断等、職員の健康管理と休職者の復帰に向けた支援
④職員の意見を取り入れた法人経営(職員意見交換会)
⑤『第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画』や『第Ⅴ期経営計画』と関連させた資金計画と要員計画を策定
⑥勤怠管理システム見直しによる事務の効率化
⑦災害時等における事業継続計画(ＢＣＰ)の策定

【財源内訳(千円)】

会費	9,298	受取利息配当金	7,428
寄付金	850	その他	3,040
補助金(松阪市)	109,389	積立資産取崩	41,391
受託金(県社協)	2,829	繰入金(退職金)	33,768
事業収入	60	繰入金(勤勉手当)	1,107
負担金(協会事務)	500	繰入金(自主財源)	86,804

（２）人材育成

事業名	職員研修事業　（本所）			
経営計画との関連(資料１)	目標	5	予算額(千円)	1,377
	実施内容	（３）		

【目的･方針】

社会福祉協議会の職員として、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応できる専門性をもった職員を育成するため、必要な知識や技術経験を備えた人材の育成や有資格者の養成に取り組みます。

【実施内容】

①本会の職員として必要な地域福祉に関する研修
②新人研修や職員の役職や年数に応じた研修
③外部研修や派遣研修だけでなく、職員が運営して実施する研修

【財源内訳(千円)】

繰入金(自主財源)	1,377

（３）福祉関係施設の運営管理

①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進

事業名	ハートフルみくも保健福祉センター事業　（三雲）			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額(千円)	19,271
	実施内容	（１）		

【目的･方針】

三雲地域における福祉活動の拠点として、地域住民、行政、各種団体と連携を図りながら、地域住民に活用される施設にしていきます。また、元気づくりやふれあい交流などの福祉事業を通じて、「地域交流の場」を作っていきます。

【実施内容】

①指定管理者の更新
②各会議室、憩いの間の貸館、物品貸出等の施設や物品の利用促進
③児童、高齢者及び、障がい者の居場所づくり
④マルシェ等の催しを各種団体や企業と協力してハートフルみくもで開催
⑤介護、障がい、生活相談、困りごと等の福祉に関する相談の場
⑥施設設備の維持管理
⑦施設・事業マネジメントの取組
⑧利用者も参加した防災訓練の実施
⑨ベビー用品のリユース

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	19,199	参加費	25
雑収入	47		

事業名	ハートフルみくもスポーツ文化センター事業（三雲）			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額(千円)	28,312
	実施内容	（１）		

【目的･方針】

スポーツやレクリエーションを通じて児童から高齢者まで広い世代の住民交流の場・健康増進の場を提供していきます。また、「ハートフルみくも」として保健福祉センター事業と連携してスポーツや文化活動の支援を通じて、暮らしや地域の活力につなげる福祉のまちづくりに繋がる運営に努めます。

【実施内容】

①文化祭やスポーツ大会を始めとする様々な事業、住民自治協議会や地区福祉会、老人クラブ等の福祉関係団体の事業に協力し、地域の文化や福祉活動への貢献
②他の施設や団体と連携、情報交換や情報発信
③施設設備の維持管理
④施設・事業マネジメントの取組
⑤利用者も参加した防災訓練の実施

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	24,090	利用料	4,088
雑収入	134		

事業名	飯南ふれあいセンター事業　（飯南）			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額(千円)	8,390
	実施内容	（１）		

【目的･方針】

高齢者生活福祉センターとともにふれあいセンターを福祉の総合拠点とし、子どもから高齢者までが気軽に集える場を目指します。支援につなぐことができていない方を CSW、包括支援センター、地域担当、事業所、福祉まるごと相談室と連携をし、地域の課題解決に取り組み事業展開をしていきます。

【実施内容】

①福祉の総合拠点として自主事業の展開
②施設・設備の計画的な修繕
③施設・事業マネジメントの取組
④地域の交流拠点となる貸館の実施

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	8,359	利用料	31

事業名	飯南高齢者生活福祉センター事業　(飯南)			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額(千円)	3,758
	実施内容	(１)		

【目的･方針】

飯南地域の福祉拠点とし、高齢者の生活を支える通所介護事業を柱として地域の絆を基に介護予防・高齢者の健康増進のための活動を継続していきます。

令和 6 年度から賃貸借による事業運営となり、施設内のスペースを活用して子どもから高齢者まで気軽に集える場づくり、地域の方が活用できる自主事業を目指します。

【実施内容】

①地域の交流拠点とした自主事業の開催
②共同募金事業と協働した「いー南カフェ」の展開　※1
(※1)地域の方が気軽に集えるセルフ式のカフェ 月２回開催
③居住棟を活用した活動
④地域の交流拠点となる貸館の実施

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	3,758

事業名	飯高高齢者生活福祉センター事業　(飯高)			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	4	予算額(千円)	14,995
	取り組み	(１)		

【目的･方針】

高齢者福祉活動の拠点として、幅広い世代交流や地域住民に活用される施設として管理運営に努めます。また一人暮らしなどに不安のある高齢者に対し、居住棟での生活をサポートしていきます。

地域福祉係（CSW、地域担当)、地域包括支援センター、まるごと相談室と連携し、地域の福祉課題解決に向けて取り組みます。

【実施内容】

①社会参加、多世代交流できる機会・場づくり、自主事業の実施
②高齢者居住事業の管理運営
③松阪市と連携した施設・設備の計画的な修繕
④施設・事業マネジメントの取組
⑤個別課題・地域課題に対し専門職、他機関協働・連携による支援実施

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	13,752	利用料	360

②社協施設の適正な運営及び利用の促進

事業名	松阪支所　（松阪）			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額（千円）	―
	実施内容	（１）		

【目的･方針】

松阪支所の管理運営に努めます。高齢者･障がい者福祉サービスの充実と、地域福祉係(CSW や地域担当者)や福祉まるごと相談室との連携にて、地域住民が地域福祉に関わる機会の提供を行いながら、様々な相談窓口としての役割を担います。

また、会議室や地域交流多目的室の貸館及び様々なイベントの企画にて、地域住民主体による協働の場づくり、ネットワークづくりの一助を担うとともに、より多様な地域資源、団体との協働に繋げます。

社協施設の維持管理に必要な安定した財源の確保に努めます。

【実施内容】

①幅広い世代が集う地域交流室や各会議室の効率的活用

②多職種連携や事例検討の場を活用した直接的な課題解決に向けた支援体制の構築と新たなサービスの提供

③第四地区の地域交流センターとの協働による地域ニーズに基づくきめ細かな地域活動の後方支援や、福祉まるごと相談室との連携による相談窓口体制の充実

④本会の BCP 策定に準じた支所危機管理体制の構築

⑤関係部署と連携しながらの施設･事業マネジメント

事業名	社会福祉センター管理補助事業　（嬉野）			
経営計画との関連(資料１)	目標	4	予算額（千円）	9,103
	実施内容	（１）		

【目的･方針】

幅広い世代の地域交流を促進する福祉拠点施設として管理運営に努めます。

社会福祉センター利用に関するアンケート結果を活かし、施設の活用方法を明確にします。

災害時の指定避難所となっており避難所運営マニュアル・災害ボランティアセンター運営マニュアルに沿った訓練と見直しを行い、施設管理者及び本会職員として迅速な対応ができるよう備えます。

【実施内容】

①施設活用方法の協議

②地域の交流拠点となる貸館の実施

③幅広い世代に利用される仕組みづくり

ア ★のびのび BABY・KIDS ひろば★ ※1

イ みんなでイキイキ体操！ ※2

ウ うれたまごカフェ ※3

(※1)“孤育て”にしない取り組みとして未就園児とその保護者を対象に開催

(※2)世代間交流・参加支援を目的に、宅老所協力の誰でも参加できる体操

(※3)憩いの場・交流の場・気軽に寄れる場としてセルフ式カフェの開催

④災害時のマニュアル整備

ア 避難所運営マニュアル

イ 災害ボランティアセンター運営マニュアル

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	6,966	利用料	343

第３章　福祉のまちづくり部門

1　部門の方針

松阪市と松阪市社会福祉協議会とで一体的に策定した５カ年計画、第 4 期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画の取組み１年目となります。計画に掲げた暮らしを支える支援体制づくり、つながりと支え合いの地域づくり、誰もが大切にされる環境づくりを松阪市全体で推進するため、広く関係機関及び市民へ周知・啓発を行います。地域支援においては各支所に地域担当者・CSW の配置を充実し、更に地域の課題に寄り添った支援ができるようにしていきます。

身近な地域の健康と福祉の相談窓口「福祉まるごと相談室」について、社協として令和５年度は三雲、飯南の２カ所を受託いたします。令和４年に受託設置した嬉野、飯高に加えて、本会として４カ所となり福祉の専門職の業務を任っていきます。

地域の期待の声も大きい反面、これまでの相談機関との違いがわかりづらいという声もあるため、市民にとってわかりやすくなるよう松阪市と協議していきます。

令和５年度、松阪市成年後見センターに設置される中核機関においては、地域の人々が支え合いながら個人の尊厳と意志が尊重され適切なサービスを選択し利用できるよう、関係機関と共に権利擁護支援の地域連携ネットワークの役割を果たします。

また、物価高騰や長引く新型コロナ感染症による生活改善に向けて、生活困窮者自立支援・家計改善支援を充実していきます。

2　事業シート

(１)赤い羽根共同募金配分金事業

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">赤い羽根共同募金配分金事業　福祉のまちづくり事業
（本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経営計画との関連(資料１)</td><td>実施項目</td><td>1</td><td rowspan="2">予算額
(千円)　5,305</td></tr>
<tr><td>取り組み</td><td>（１）</td></tr>
<tr><td colspan="4">【目的・方針】
第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標である「つながりと支え合いの地域づくり」を推進するため、本所（全域）支所を拠点として、地域特性に合わせた事業を実施します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【実施内容】
①　一般配分金事業
ア　情報の発信・共同募金 PR
(ア)広報紙やホームページ、SNS 等による地域福祉活動の情報発信
(イ)共同募金運動の活性化、地域が行う募金運動の支援
(ウ)地域のまつりやイベント等で共同募金ブース出店（啓発）
(エ)令和４年度に募集した共同募金デザインを活用した独自資材の開発</td></tr>
</table>

イ　生活応援ふくし

（ア)就労支援、制服のリユース、生活再建のための支援やたすけあいなどのしくみづくり

（イ)生活物資提供を通じた生活支援

ウ　地域福祉教育・人材育成

（ア)福祉教育ガイドの作成とプログラムの推進

（イ)地域の担い手育成やしくみづくりの講演会、研修会等の開催

エ　地域の移動手段を支える松阪コミュニティ交通への協賛

オ　松阪版障がい(児)者サポートブックの推進

カ　みんなの居場所づくり（松阪・嬉野・飯南）

（ア)支所を拠点とした集いの場、世代間交流

（イ)社会参加の場づくり

（ウ)活動の展示による交流

キ　子ども子育て応援

（ア)子育て世代を対象とした防災講座の実施（松阪）

（イ)★のびのびＢＡＢＹ・ＫＩＤＳひろば★の開催（嬉野地区福祉会との共催）

（ウ)人形劇の上演（三雲、嬉野）

（エ)わんぱくキッズ教室・アウトドア体験（三雲）

（オ)昔遊びや読み聞かせを通じた、こども園と地域住民との交流（飯南）

ク　ふくしわくわく学び隊（松阪）

ケ　つながり応援（嬉野）

（ア)障がい施設と地域住民との交流

（イ)過疎・高齢化の進む地域のつながりのしくみづくりを応援

コ　高齢者のつどい、高齢者の生きがいづくりや交流（三雲）

サ　高齢者安心見守りネットワーク（飯南・飯高）

シ　障がい(児)者団体、施設、ボランティア等によるお楽しみ交流会（飯高）

②　地域歳末たすけあい配分金事業

ア　情報の発信・共同募金 PR

（ア)広報紙やホームページ、SNS 等による歳末期の地域福祉活動の情報発信

（イ)地域歳末たすけあい運動の活性化、地域が行う歳末期の募金運動の支援

（ウ)歳末期に行われる地域のまつりやイベント等で共同募金ブース出店（啓発）

イ　子どもの交通安全推進

ウ　生活応援ふくし

エ　あったかごはんプロジェクト（歳末期の生活困窮者支援）

（ア)生活物資提供を通じた生活支援

（イ)生活再建のための支援、たすけあいによるセーフティネットのしくみづくり

（ウ)家族問題、生活困窮課題の啓発

【財源内訳(千円)】

	本所	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	合計
配分金(一般)	1,409	303	243	191	320	30	2,496
配分金(歳末)	2,580	22	—	48	—	—	2,650
社協会費	10	10	—	—	—	—	20
参加費	—	—	—	89	—	—	89
県共募	50	—	—	—	—	—	50
合計	4,049	335	243	328	320	30	5,305

事業名	赤い羽根共同募金配分事業　地域助成事業 (本所、松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所)			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	20,947
	取り組み	(１)		

【目的･方針】

松阪市住民自治協議会が第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、作成する地域計画の推進を支援するための助成事業を行います。

三重県の配分要綱に基づいた助成要綱、募集要項を作成。公募や公開審査会の実施、地域担当者によるプレゼンテーション等を実施し、より共感の得られる事業としていきます。

連年助成の事業について、見直し点検、評価を実施しホームページ等で公表していきます。

【実施内容】

①　一般配分事業

ア　地域福祉活動推進助成(住民自治協議会・地区福祉会)

イ　地域づくり(地域の絆)助成(住民自治協議会・地区福祉会)

ウ　市民活動助成(公募：はじめの一歩部門・一般部門)

エ　福祉活動助成(新たな当事者団体への公募も実施)

オ　子どもの居場所づくり助成(三重の募金百貨店プロジェクトの活用)

カ　地域福祉教育推進助成(学校が地域と取り組む福祉教育の推進)

キ　障がい者施設団体行事助成

ク　宅老所活動支援助成

ケ　子ども行事助成

コ　子育て支援行事助成(子育てサークル・放課後児童クラブ)

②　地域歳末たすけあい配分金事業

ア　歳末たすけあい地域福祉活動推進助成

【財源内訳(千円)】

	本所	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	合計
配分金(一般)	10,453	5,649	1,279	751	235	205	18,572
配分金(歳末)	2,375	—	—	—	—	—	2,375
合計	12,828	5,649	1,279	751	235	205	20,947

（２）地域福祉活動推進事業・企画広報事業

事業名	社会福祉大会事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	1,900
	取り組み	（１）		

【目的･方針】

「地域の絆と支援の輪でいきいきと自分らしく暮らせるまち松阪」の実現のため、福祉の高揚と推進を図り、松阪市の社会福祉向上に貢献された方々を顕彰する式典を松阪市・社会福祉協議会、松阪市共同募金委員会の３者で開催します。

地域の福祉活動･ボランティア活動等の啓発をし、福祉活動にふれる機会とします。

地域の福祉活動の活性化として共同募金運動の啓発を行います。

楽しみながら福祉活動へ参加いただくこととイベント規模の縮小を両立した企画に取り組みます。

【実施内容】

① 社会福祉功労者（団体）表彰式典
② 基調講演
③ 福祉フェスティバル
　ア ボランティア団体の啓発交流・被災地復興支援
　イ 共同募金運動の啓発
　ウ 障がい施設による自主製品オリジナルショップ
④ 会場：嬉野ふるさと会館（予定）

【財源内訳(千円)】

補助金(松阪市)	950	繰入金(自主財源)	950

(３)地域福祉活動推進・地域福祉活動事業

事業名	地域福祉活動計画事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算(千円)	12,205
	取り組み	（１）（２）		

【目的･方針】

第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進、松阪市住民自治協議会が策定する地域計画の支援、重層的支援体制整備事業等と連動した地域福祉活動（課題解決）を推進します。

【実施内容】

①　第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

重点項目「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」

ア　住民自治協議会が作成する「地域計画」推進の支援

(ア)小地域福祉活動助成、共同募金助成等の活用

(イ)職員の専門性を活かせる「地域支援員」の配置

イ　松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画のアウトカム評価

ウ　重層的支援体制整備事業への参画

(ア)福祉まるごと相談室をはじめとする包括的支援事業と地域担当者・CSW との協働

(イ)地域へのアウトリーチ、参加支援の場づくり、地域づくり支援等のしくみづくり

エ　共同募金配分金を活用した、地域の福祉課題解決のしくみづくり

②　第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知

ア　小地域福祉活動エリア代表者会議などによる地域住民代表者への説明

イ　重層的支援ネットワーク会議などによる支援機関への説明

ウ　社協だより等の広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信

【財源内訳(千円)】

補助金(松阪市)	12,000	繰入金(自主財源)	205

事業名	ボランティアセンター事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	5,557
	取り組み	(１)		

【目的･方針】

第４期地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標「つながりと支え合いの地域づくり」の中の、ボランティア活動を身近に感じる取組みや社会参加のひとつとして参加しやすい地域活動の担い手の充実を図ります。

ボランティア団体が活動しやすい体制づくり、ボランティア連絡協議会の活動支援を行います。

また、災害時においては、災害ボランティアセンターが早期稼働できるように、マニュアルの整備、具体的な訓練などを行います。

【実施内容】

①　ボランティア活動の支援、相談、コーディネート

ア　ボランティア団体の活動しやすい体制づくり
(ア)ボランティア団体活動助成
(イ)社協だより等広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信
(ウ)機材等の貸し出しによる活動支援
(エ)活動中の事故に備えたボランティア活動保険加入支援
イ　地域の福祉ニーズに対応した福祉人材の養成、新たなボランティアの発掘
(ア)猫一時預かりボランティアの養成講座
(イ)傾聴ボランティア養成講座（フォローアップ研修）
(ウ)活動のフォローアップ（傾聴・手話サロン・ボランティアサロン）
ウ　子ども・学生へボランティア活動に関わる機会の提供
(ア)氏郷まつり・松阪こども祭りなどでのボランティア啓発
(イ)高校、大学のボランティア部との連携
(ウ)ボランティアスクールの開催
エ　福祉教育・体験学習の推進
(ア)福祉体験教室、職場体験わくわくワーク・人権学習の体験受入れ等
(イ)夏季・冬季休みのボランティアスクールの開催
② 災害時のボランティアセンター体制整備
ア　社協内 BCP 策定の推進
(ア)災害時ボランティアセンターの運営設置に向けた運営マニュアルの見直し
(イ)職員研修
イ　災害時ボランティアセンターサポーター養成講座、フォローアップ研修の開催
③ 松阪市ボランティア連絡協議会との連携・協働
ア　事務局運営支援
④ 被災者（地）支援
ア　災害ボランティアの情報発信
イ　被災地へのボランティア派遣支援、被災地支援調整

【財源内訳(千円)】

補助金（松阪市）	3,125	繰入金(自主財源)	2,432

事業名	総合相談支援事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	3,735
	取り組み	（２）		

【目的･方針】
日常生活上のさまざまな困りごとについて、心配ごと相談を実施します。
法律に関する生活上の困りごとについて、弁護士による相談を行います。
生活困窮支援に関わる生活の立て直しを専門的な支援へつなげるため新たに司法書士による相談を企画していきます。
社会福祉協議会を拠点とした「身近な地域の相談窓口」として、包括的に相談を受け

止め適切な専門機関･支援へとつなぐための支援を行います。
【実施内容】 ①　相談所の開催 　ア　心配ごと相談員による心配ごと相談（松阪支所・嬉野支所） 　　松阪支所　平日午後　　嬉野支所　月４回　月曜日午前 　イ　弁護士による法律相談　月２回　（松阪市福祉会館） 　ウ　司法書士による相談　　年６回　（松阪市福祉会館） ②　社協職員による総合相談　（各支所・各事業専門職員）

【財源内訳(千円)】

補助金（松阪市）	2,054	繰入金(自主財源)	3,735

事業名	ふれあい体育祭事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	1,057
	取り組み	（１）－②		
【目的･方針】 　障がいを持つ方の体力増進、障がい者（児）及び施設や団体、ボランティアの交流の場として、ふれあい体育祭を実施します。				
【実施内容】 ①　ふれあい体育祭の実施 　ア　運動プログラムの実施 　イ　障がい者（児）とボランティアの交流レクレーション 　ウ　餅つき 　イ　ふれあい交流				

【財源内訳(千円)】

補助金（松阪市）	528	繰入金(自主財源)	429
寄付金	100		

（３）　福祉サービス利用援助事業

事業名	日常生活自立支援事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	25,491
	取り組み	（２）		
【目的･方針】 　認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などのうち判断能力が不十分な人に対し、本人との契約に基づき、福祉サービス等を利用しながら地域でできる限り自立した生活を送れるよう、福祉サービス利用援助、金銭管理、書類預かり等の支援を行います。専門員が作成する支援計画に基づき、支所に配置する推進員と共に、できるかぎり支所を拠点とした身近な地域の生活支援員を選任し訪問支援にあたります。				

【実施内容】
① 支援計画に基づく支援の実施
② 生活支援員スキルアップ研修会の開催。
③ 松阪市成年後見センターと一体的な相談窓口の設置
ア 相談支援
イ スクリーニング
ウ 成年後見制度利用支援
④ 権利擁護支援地域連携ネットワークへの参画
⑤ 行施機関、医療福祉関係機関との連携強化。

【財源内訳(千円)】

受託金（県社協）	18,405	利用料	2,154
助成金(松阪社協)	864	繰入金(自主財源)	4,068

（4） 資金の貸付事業

事業名	福祉つなぎ資金貸付事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	600
	取り組み	（２）		

【目的･方針】
生活保護受給世帯の緊急やむを得ない事由が生じ、日常生活に支障をきたす状況となった場合に、福祉事務所長の意見により貸付を行います。
地域の福祉課題を把握し運用を見直していきます。

【実施内容】
① 福祉つなぎ貸付
ア 松阪市福祉事務所との連携による貸付の受付、相談支援
イ 松阪市福祉事務所との連携による償還手続き、滞納者への督促
② 困窮者支援として地域の福祉課題の確認、運用の見直し

【財源内訳(千円)】

貸付事業	600

事業名	育英基金事業　（飯南支所）			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	2,335
	取り組み	（２）		

【目的･方針】
松阪市飯南町育英基金は大学及び専門課程を置く専修学校に進学もしくは在籍する者で経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学金を給付し、就学の機会を広め、地域社会に後見する人材を育成することを目的とします。

【実施内容】

①　松阪市飯南町育英基金の設置の為の管理 ②　奨学金の貸付及び給付 　ア　給付の申請受付 　イ　運営委員会の開催（給付書類審査等）一次、二次募集の２回 　ウ　奨学金申請者の面接（運営委員）一次、二次募集の２回 　エ　給付決定後の通知 　オ　借用書の提出受付、管理 ③　奨学金の返還等の管理及び滞納者へ返済計画への個別対応 ④　事業の周知、関係機関との連携

【財源内訳(千円)】

償還金収入	2,304	繰入金(自主財源)	31

（５）在宅福祉受託事業

事業名	生活福祉資金貸付事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	4,954
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

低所得者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談援助を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉及び社会参加の促進を図り安定した生活を送れるよう支援します。

特例貸付債権管理専門員を配置し、コロナ特例貸付の償還にかかる生活困窮者への相談支援を行います。（令和５年１月から開始）

【実施内容】

①　生活福祉資金貸付
　ア　貸付の受付、相談支援
　イ　償還手続き、償還に伴う滞納者への償還促しや訪問
　ウ　調査委員会の開催
　エ　自立支援機関との協働による償還支援
②　事業の周知、関係機関との連携
　ア　民生委員児童委員協議会等での事業説明及び連携
　イ　松阪市教育委員会を通じた事業説明及び連携
　ウ　教育機関等への情報発信及び連携
③　コロナ特例貸付
　ア　債権管理業務、償還事務、相談支援
　イ　生活困窮者自立支援制度等利用へのつなぎ
　ウ　生活支援のための食糧支援等のしくみづくり

【財源内訳(千円)】

受託金(県社協)	4,954

事業名	高齢者ボランティアポイント事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	3,131
	取り組み	（１）－②		

【目的･方針】

松阪市が行う介護予防事業として、高齢者がボランティア活動を通じた地域貢献活動や社会活動（通称：ささえさん活動）に参加することで、高齢者がいきいきと生活している地域社会づくりを実施します。

【実施内容】

① ささえさん活動支援

ア 活動先紹介マッチング

イ 活動のためのオリエンテーション

エ 交流研修会

② ポイント還元手続き

③ 活動受け入れ事業所の開拓、既存事業所のフォローアップ

④ 事業の周知啓発

ア 社協だより等の広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信

⑤ 事業内容の協議

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	3,039	繰入金(自主財源)	92

事業名	児童発達支援地域スクール事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円)	7,448
	取り組み	（１）－②		

【目的･方針】

地域で暮らす心身の発達に心配がある又は障がいのある 18 歳以下の児童の長期休暇中における日中の居場所づくり、地域の方々とのつながりや交流の機会の創出、障がい児等及びその家族に対する相談支援を行うことにより、障がい児等及びその家族の日常生活の向上を図ることを目的とします。

地域とのつながりづくりとして、施設や地域で活動する団体の協力を得ます。また、ボランティア及び看護師、特別支援教育関係者の支援を得ることで利用児童の安全を確保します。

【実施内容】

① 地域の施設を活用した日中活動の場の実施

ア 音楽療法やレクリエーション

イ 昼食（共食の場）おやつ（調理実習）の提供

② 松阪版障がい(児)者サポートブックの推進

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	5,692	繰入金(自主財源)	1,756

事業名	保育士修学資金貸付事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	19,272
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

保育士の資格の取得を目指す学生に対し就業に必要な資金の貸付けにより、就学を支援し松阪市内の保育士（地域福祉活動の担い手・福祉人材）の確保を行います。

【実施内容】

① 修学資金の貸付及び償還手続き

ア 貸付の受付、相談支援

イ 貸付者及び償還猶予等の決定のための貸付審査委員会の開催

ウ 償還手続き、償還に伴う督促

② 事業の周知・地域福祉活動の担い手、保育人材確保の啓発

ア 三重県教育委員会、三重県私学会への周知依頼（メール）

イ 高等学校、養成施設への訪問による事業説明

ウ 社協だより等の広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信

③ 生活課題を抱えた貸付希望者への相談支援

④ 地域の福祉課題に基づいた事業の見直し

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	15,024	繰入金(自主財源)	4,248

事業名	ひきこもりサポート事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	5,956
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

ひきこもり支援に関する相談窓口の周知や実態把握、社会参加への支援につなげるための関係機関とのネットワークを構築します。

また、本人やその家族が安心して過ごせる居場所づくり、講習会の開催等を通じてひきこもり支援の基盤を構築し、本人の状況に応じた社会参加に向けた支援を図ります。

【実施内容】

① ひきこもり相談窓口、支援機関の情報発信

ア 社協だより等の広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信

② ひきこもりに関する調査研究

ア 対象者の生活実態やニーズ調査

イ　支援機関の実態や支援における課題調査
ウ　ひきこもり支援施策の提言
③　ひきこもり支援関係機関とのネットワークづくり
ア　重層的支援ネットワーク会議、地域包括ケア会議等への参加
④　相談支援
ア　電話、来所等による相談及び状況に応じたメールや LINE 等の活用
イ　必要に応じ家庭訪問を中心とする訪問型支援
ウ　医療、保健、福祉、教育、就労等の適切な関係機関へのつなぎ
エ　アウトリーチ等継続支援事業、参加支援事業等へのつなぎ
⑤　ひきこもりに関する理解の促進および周知啓発
ア　講演会（フォーラム）の開催
⑥　ひきこもり当事者の居場所づくり（運営）
ア　「蔵」を拠点とした当事者の居場所企画と運営
イ　地域担当者と CSW の協働による身近な地域での居場所立ち上げ支援
ウ　ひきこもり支援サポーター養成講座の開催
⑦　ひきこもりの家族教室や家族のつどいの開催

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	5,956

事業名	多機関協働事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	6,774
	取り組み	(１)		

【目的･方針】
重層的支援体制において、相談支援包括化推進員が中心となり、複雑化･複合化した事例に対応し、支援関係機関の抱える課題把握や役割分担、支援の方向性の整理など、事例全体の調整を行います。
重層的支援ネットワーク会議により事例検討の手法を用いて、各専門機関が担う役割の整理や連携の在り方を確認し合い、松阪市の重層的支援体制の構築、連携強化を目指します。

【実施内容】
①　重層的支援ネットワーク会議の開催（コーディネーター業務委託予定）
ア　事例検討会
イ　多機関多職種の事業の紹介
ウ　多機関協働におけるネットワークづくり
②　社会福祉法に基づく支援会議の開催
ア　支援関係機関等が把握する複雑化・複合化した課題を抱える方やその世帯に関する情報の共有
イ　地域における必要な支援体制の検討

③　包括化推進会議の開催
　ア　多機関協働プランの作成、支援プランの協議、支援プランの決定
　イ　アウトリーチ等継続支援プラン及び参加支援プランの協議、支援プランの決定
④　事業の周知啓発
　ア　社協だより等の広報紙、ホームページ、SNS 等での情報発信
　イ　講演会フォーラム等の開催
⑤　支援関係機関からの相談に対する直接的課題把握と支援の方向性の整理

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	6,613	繰入金(自主財源)	161

事業名	重層的支援体制整備事業（アウトリーチ・参加支援・地域づくり）（本所、松阪･嬉野･三雲･飯南･飯高支所）		
経営計画との関連(資料１)	実施項目	1	予算額(千円) 68,822
	取り組み	（１）（２）	

【目的･方針】
　地域住民の複雑化・複合化した課題に対し、地域支援計画に基づき、身近な地域における共助の取組みを活性化させ、地域福祉を推進します。
　第４期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標Ⅱつながりと支え合いの地域づくりの施策「人・場・ネットワーク」づくりを住民自治協議会と共に推進します。
【アウトリーチ等を通じた継続的支援事業】
　複数分野にまたがる複雑化・複合化した課題を抱え、必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチ等を通じた継続的な支援を行います。
【参加支援事業】
　各分野で行われている既存の社会参加に向けた支援では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、地域の社会資源などを活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行います。
【生活困窮者支援等のための地域づくり事業】
　身近な地域における共助の取組を活性化させ地域福祉の推進をはかるため、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行います。

【実施内容】
①　アウトリーチ事業
　ア　当事者に寄り添い適切な人（支援）や場所に繋ぐ
　イ　会議や関係機関とのネットワークの中から潜在的な相談者を見つける
　ウ　アウトリーチプランの作成、相談支援包括化推進会議で支援の妥当性や方針について協議
　エ　通いの場等に訪問し、個人及び地域の課題を把握し、地域の課題解決の仕組みや制度の狭間で生まれる新たな生活課題の受け皿を整える

② 参加支援事業
ア 当事者ニーズを踏まえた丁寧なマッチングと社会参加に向けた支援のためのメニュー作成
イ 本人に対する定着支援と企業などの受け入れ先への支援
③ 生活困窮者支援等のための地域づくり事業
ア 地域住民のニーズ・生活課題の把握
イ 地域住民の活動支援・情報発信等
ウ 地域コミュニティを形成する「居場所づくり」
エ 行政や地域住民、ＮＰＯ等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

【財源内訳(千円)】

補助金(松阪市)	60,800	繰入金(自主財源)	8,022

事業名	福祉まるごと相談室運営業務 （嬉野･三雲･飯南･飯高支所）			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	26,314
	取り組み	（１）		

【目的･方針】
松阪市が開設する福祉まるごと相談窓口の包括的相談支援事業を行います。
相談窓口の活動を通して支援を必要とする住民(世帯)が抱える多様な地域生活課題について、支援関係機関や多機関協働事業者、地域と連携しながら地域生活課題の解決を図ります。

【実施内容】
①健康、福祉の総合相談
ア あらゆる世代を対象とした電話、来所、訪問相談
イ 高齢、障がい、こども、生活困窮へのつなぎや紹介
ウ 複雑化･複合化ケースの多機関協働へのつなぎ
②健康づくり、介護予防の事業実施と啓発
ア 介護予防教室、健康教育や相談の実施
イ 健康づくりに関する啓発や情報提供
③見守り、支援のネットワークづくり
ア 支え合いの活動の推進
イ 地域と社会資源等を活用したつながり作り支援

【財源内訳(千円)】

	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
補助金(松阪市)	5,700	5,919	5,700	5,700	23,019
繰入金(自主財源)	1,565	764	813	153	3,295

(１０)地域福祉活動推進事業・地域後見サポート事業

事業名	成年後見センター事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	15,907
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

成年後見制度の利用を必要とする人が尊厳のある本人らしい生活を継続するために、制度の啓発、利用促進と円滑な制度運用ができる体制により、松阪市成年後見センターを運営します。

令和 5 年度からは、権利擁護支援における地域連携ネットワークのコーディネートを行う中核的な機関の機能や役割を担います。

【実施内容】

① 広報・啓発業務

ア パンフレットの作成・配布

イ 講演会の開催

ウ 権利擁護支援における関係機関、専門職会議等への参画

② 相談業務

ア 日常生活自立支援事業等との権利擁護支援における一体的な相談

イ 制度利用の必要性及び緊急性の判断

ウ 成年後見制度利用支援（申立にかかる準備の支援相談）

エ 専門機関への繋ぎ

オ アウトリーチ

カ 関係機関等のケース会議等への参画。

③ 中核機関としての役割

ア 地域連携ネットワーク会議の立ち上げ

イ 支援機能の充実のための関係機関・団体のコーディネート

ウ 後見人等候補者、マッチング機能のしくみづくり

エ 地域の権利擁護支援における担い手の養成

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	11,800	繰入金(自主財源)	4,107

事業名	法人後見事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	1,084
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

松阪市に重層的支援体制が整備される中で、複合的な課題を抱えた方が成年後見へつながることも多く、士業個人での後見活動だけでは抱えきれない事例が増えることが想定されています。

判断能力が不十分で、資力の乏しさや身上監護面において特に配慮が必要な対象者を受任できるよう体制を拡充していきます。

【実施内容】
① 法人後見の受任、支援計画に基づいた後見業務
ア 成年被後見人・被保佐人・被補助人との定期的な面会
イ 福祉サービス・医療・施設入所などの契約手続き
ウ 日常的な金銭管理の支援
エ 不動産や有価証券などの財産管理
オ 裁判所への後見等活動の定期的な事務報告
カ 法人後見受任に向けての裁判所との連携
② 地域連携ネットワークへの参画

【財源内訳(千円)】

利用料	1,084

(１１)その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業

事業名	生活困窮者自立支援事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	23,454
	取り組み	(２)		

【目的･方針】
相談者の自立と尊厳の確保を目的に、課題がより複雑化・深刻化する前に課題解決に向けた支援を行います。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて失業、休業した困窮世帯に対して、必要な制度等の利用を提案し自立に向けた支援を行います。
重層的支援体制整備事業実施にあたり、多機関協働事業や他の包括的相談支援事業、ひきこもり相談窓口、福祉まるごと相談室、地域担当者、CSW 等との連携・協力に取り組みます。

【実施内容】
① 生活と就労に関するワンストップ窓口の実施
② 自立支援プランの作成
ア 貸付担当と連携による家計改善支援事業へのつなぎ
イ アセスメント及び支援のためのアウトリーチ
ウ ハローワークとの連携強化、就労自立促進事業の利用と開拓
③ 無料職業紹介事業所として就労訓練事業（中間的就労等）の斡旋
④ 住居確保給付金の受付、相談
⑤ 支援調整会議の開催
⑥ 重層的支援体制整備事業・包括的相談支援（生活困窮者への自立相談支援）
ア 属性や世代を問わない包括的な相談の受け止め
イ 支援機関のネットワークでの対応
ウ 複雑化・複合化した課題の多機関協働事業へのつなぎ
エ ひきこもり支援の推進
⑦ 生活困窮者支援を通じた地域づくり

ア　個別の支援から表出された地域生活課題（ニーズ）を地域支援機関へつなぐ イ　生活困窮支援事業の協働、地域課題（解決のしくみ）の啓発

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	21,085	繰入金(自主財源)	2,369

事業名	生活困窮者家計改善支援事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	7,623
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

家計に課題を抱える生活困窮者の相談に応じ、相談者と共に家計の状況を明らかにして家計改善の意欲を引き出す支援を行います。必要な情報提供や専門的な助言等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されるよう支援します。

新型コロナウイルス感染症の影響などで生活が苦しくなった世帯に対し、生活福祉資金貸付事業担当部署と連携し家計の収支改善に向けた支援を行います。

【実施内容】

①　家計改善プランの作成

ア　家計表を活用し、生活課題への気付きの促し、生活の再生へ向けた意欲を高める支援

イ　自立相談支援事業、生活福祉資金貸付事業等との連携を通じ、生活の立て直し

②　支援会議等への参加を通じ、さまざまな人（関係機関）とのつながり、多機関との連携の構築

③　生活困窮者家計改善支援事業の周知

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	5,236	繰入金(自主財源)	2,387

事業名	生活困窮者就労準備支援事業			
経営計画との関連(資料１)	実施項目	2	予算額(千円)	5,798
	取り組み	（２）		

【目的･方針】

地域の中で、その人らしい日常生活が送れるように、自己理解･仕事理解を進める支援を行います。そのうえで、その人に合った仕事（活動）をみつけられるよう、または、就労のみにこだわらず、よりどころとなる居場所や役割を見つけて、生き生きと過ごせるよう支援を行います。

【実施内容】

①　就労準備支援プラン作成

ア　地域での就労（活動）の場・居場所への参加支援、役割の獲得の支援

② 支援会議等への参加を通じ、さまざまな人（関係機関）とのつながり、多機関との連携
③ 認定就労訓練事業の周知、就労体験やボランティア体験協力企業、登録事業所の開拓、登録企業へのフォローアップ
④ ひきこもりの状態にある方へのアウトリーチ及び参加支援、ひきこもり支援を行う他の機関との役割の整理

【財源内訳(千円)】

受託金(松阪市)	5,798	繰入金(自主財源)	222

第４章　在宅福祉サービス部門

１部門の方針

令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図ってきましたが、利用者･職員の感染により、利用控えや事業休止を余儀なくされ事業収益に大きな影響が出ましたが、新型コロナウイルス感染症は令和５年５月に感染症法上の位置づけが２類から５類へ引き下げられる予定のため、令和５年度以降は事業収益への影響は縮小していくと予測しています。国や三重県の指針に基づき、引き続き感染症対策を実施していきます。

三雲支所通所介護事業所においては、入浴設備の老朽化により使用できない期間が続いたことで、利用者へのサービス提供や事業収益に影響が出ました。今後も本会所有施設や指定管理施設等において老朽化による修繕が必要になると予測されるため、施設・設備点検を実施し計画的な修繕が実施できるよう松阪市と協議を行っていきます。

令和５年度末に指定管理施設の指定管理期限を迎えるため、引き続き指定管理施設において介護･障がい事業が運営できるよう、公募に向けた応募申請やプレゼンテーションなどのサポートを行います。人員不足という大きな課題があるため、事業マネジメントを継続し、一定の基準を設け事業所の統廃合を視野に入れた検討を行っていきます。

また、事業所ごとの事業マネジメントの方針に沿って収益改善に取り組み、法人全体の収益の柱である事業所の安定した経営に努めます。

２　事業シート

(１)在宅福祉サービス事業

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">在宅福祉サービス事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経営計画との関連(資料１)</td><td>目標</td><td>3</td><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td rowspan="2">1,118</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>（１)、(２）</td></tr>
<tr><td colspan="5">【目的･方針】
①サービス事業所の法令順守
②人材育成や有資格者の養成によるサービスの質の向上
③特定の事業所だけに頼らず各事業所で繰り出しできる財源の確保
④施設･事業マネジメントの方針に沿った進捗管理
⑤事故を減らすための取組み
⑥感染症の拡大防止
⑦事務作業効率化による負担軽減</td></tr>
<tr><td colspan="5">【実施内容】
①法令遵守
ア 年２回の内部監査の実施
イ サービス事業所の BCP 策定
ウ 義務化される研修会や委員会の開催
②サービスの質の向上</td></tr>
</table>

ア 管理者会議の開催
イ 外部研修の周知
ウ アンケート調査の実施による課題解決に向けた取り組み
エ 試験対策講座の開催
オ 管理者の育成

③財源確保
ア 事業マネジメントの方針に沿った運営を支援
イ 営業活動のサポート
ウ 予算執行率や事業計画の進捗状況の管理
エ 物価高騰による影響の調査･検討(水光熱費･食材費)

④施設･事業マネジメント
ア 指定管理施設の応募に向けた支援
イ 松阪市との協議
ウ 施設･事業マネジメントの継続協議

⑤リスクマネジメント
ア 事故の検証、再発防止
イ リスクマネジメント冊子の作成･周知
ウ 施設内の危険個所の確認や福祉用具等の備品を点検する仕組み作り

⑥感染症対策
ア 新型コロナウイルスに関する最新情報の周知
イ 感染防止マニュアルの見直し･修正

⑦職員の負担軽減
ア 障がい事業所の計画書等の書式統一化
イ 介護業務システムの検討

（２)高齢者福祉サービス

事業種別	訪問介護事業 （松阪･飯高）	
事業所名	訪問介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（１)、(２)

【目的･方針】
利用者の要介護状態の軽減または悪化防止に資するよう、目標を設定し計画的な介護サービスを提供します。
最新の介護技術を習得し、サービスの質の向上に努めます。また、令和 5 年度は新たな加算を算定し、収益改善を図ります。

【実施内容】
①職員の健康管理と感染症対策

②収益改善

ア 居宅介護支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得

イ 重度利用者の受入

ウ 特定事業所加算の算定（松阪支所・飯高支所）

③資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した訪問介護計画書の作成

イ 研修会への参加と伝達講習、会議の定期開催

ウ 緊急対応などの救命処置の研修会

エ 苦情発生時の迅速な対応と再発防止への取組み

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤職員確保

ア ホームページやチラシによる登録ヘルパーの募集

イ 職員紹介制度の積極的な活用

⑥職員の労働環境の改善

登録ヘルパーに対する定期健康診断の実施

⑦地域福祉係との協働による地域に向けての活動

地域住民を対象とした在宅介護に関する講演会や介護者教室の開催

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	37,129	23,447	60,576
事業活動支出	33,276	24,118	57,394
差引	3,853	△671	3,182

事業種別	通所介護事業　（嬉野･三雲･飯南･飯高）	
事業所名	通所介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（１)、(２）

【目的･方針】

要介護･要支援認定及び事業対象者の認定を受けた高齢者に対して、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう介護サービスを提供します。

収益改善の取り組みとして、居宅介護支援事業へ周知を図り新規利用者の獲得を目指します。また、令和５年度は新たな加算を算定し、収益改善を図ります。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染対策

②資質向上
　ア 利用者や家族のニーズを尊重した通所介護計画書の作成
　イ 研修会の参加と伝達講習
　ウ 看護師による機能訓練の実施
③収益改善
　ア 居宅介護支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得
　イ 中重度者ケア体制加算の算定(三雲通所)
　ウ 個別機能訓練加算の算定(嬉野通所･飯高通所)
　エ 書類作成マニュアルの活用により、事務の効率化を図り時間外を削減
④災害対策
　ア 緊急時や災害時を想定した訓練
　イ マニュアルの見直しと BCP の策定

【事業活動収支(千円)】

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	79,412	65,421	74,818	75,684	295,335
事業活動支出	77,174	53,887	75,990	68,984	276,035
差引	2,238	11,534	△1,172	6,700	19,300

事業種別	総合事業　(松阪)	
事業所名	福っきー体操くらぶ	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	(１)、(２)

【目的･方針】
　高齢者が住み慣れた地域で生きがいを感じながら暮らし続けられるように、自身の能力を最大限活かし、要介護状態になることを予防できるようにサービスを提供します。
　運動を中心とした身体機能の維持、仲間との交流を通した認知症予防に努めます。

【実施内容】
①職員の健康管理と感染症対策
②利用者･家族のニーズを尊重した個別サービス計画に基づいたサービスの提供
③関係機関との連携･協力体制を強化
④研修への参加や伝達講習による職員の資質向上
⑤緊急時･災害時を想定した訓練などの実施
⑥マニュアルの作成と見直し及び BCP の策定
⑦地域包括支援センター、居宅介護支援事業所への空き状況の周知

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所

事業活動収入	17,878
事業活動支出	17,802
差引	76

事業種別	外出支援通所サービス運営事業(嬉野･飯高)			
事業所名	嬉野いきいき･飯高サテライト			
経営計画との関連(資料１)	目標	1	予算額(千円)	17,188
	実施内容	(１)		

【目的･方針】

家で閉じこもりがちな高齢者に日常生活動作訓練、生きがい活動などのサービスを提供し、介護予防に努めます。

利用者の身体機能の低下や介護保険への移行により、利用者数が減少しているため、活動内容の周知を行い、利用者増につなげていきます。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策
②健康チェックやレクリエーション、創作活動を通じた社会参加の促進
③公民館などへのチラシ配布による周知
④創作活動
⑤季節行事の開催
⑥外出や地域との交流

【財源内訳(千円)】

	嬉野支所	飯高支所	計
委託料	6,567	8,717	15,284
利用料	1,440	464	1,904

事業種別	居宅介護支援事業　(松阪･嬉野･飯高)	
事業所名	居宅介護支援事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	(１)、(２)

【目的･方針】

利用者に対して介護保険法令に則って、居宅サービス計画書を作成し、サービス事業所との連絡調整その他の便宜を図ります。様々な生活課題を抱えた世帯が増えるなか、他機関との連携を図りながら、地域の相談窓口の役割を担っていきます。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策
②資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した居宅サービス計画書の作成
イ 研修会への参加と伝達講習
ウ 他法人との合同研修会
エ 主任介護支援専門員の資格取得及び資格更新
オ 介護支援専門員合格者･看護学校等の実習生受入による職員の指導力向上

③収益改善
ア 加算取得に向けた取り組み(加算算定シートの活用)
イ 地域担当や地域包括支援センターとの情報共有や連携による新規利用者の獲得
ウ 担当利用者や家族からの新規利用者の紹介

④災害対策
ア 緊急時や災害時を想定した訓練
イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤多機関との連携
ア 重層的支援体制整備事業に向けた地域福祉係や支所内連携、他機関とのネットワークづくり

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	16,632	3,696	1,108	21,436
事業活動支出	13,882	3,033	1,877	18,792
差引	2,750	663	△769	2,644

事業種別	地域包括支援センター事業　※介護予防支援事業を含む			
事業所名	第二地域包括支援センター、第三地域包括支援センター			
経営計画との関連(資料１)	目標	１、２、３	予算額(千円)	104,335
	実施内容	1-(１)、2-(１)、(２) 3-(１)、(２)		

【目的･方針】
高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある暮らしを継続できるよう、心身の健康の維持、生活の安定のため必要な相談援助を行うことにより、福祉の増進及び保健医療の向上を図り包括的に支援していく中で、地域包括ケアシステムの確立を図ります。

【実施内容】
①職員の健康管理と感染症対策
②総合相談支援業務
ア 地域の実態把握
イ 各種相談機関との連携
ウ 見守りネットワークの構築
エ 地域ケア会議の開催
オ 認知症施策の充実

③権利擁護業務
　ア 虐待防止を含む見守り強化のための啓発
　イ 成年後見センターとの連携
　ウ 松阪市版エンディングノートの普及啓発
④包括的･継続的ケアマネジメント支援業務
　ア 医療と介護の連携強化
　イ 適切なケアマネジメントへの支援
　ウ 感染症や災害への対応力の強化
⑤健康づくりと介護予防の推進
　ア 介護予防事業
　イ 住民による地域介護予防活動支援事業
　ウ 介護予防ケアマネジメント･介護予防支援
　エ 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業
⑥身近な相談窓口との連携
　ア 地域住民が抱える多様な生活課題に対して解決に向けた連携

【財源内訳(千円)】

	第二包括	第三包括	計
委託金	42,280	36,981	79,261
事業収入	3	0	3
介護保険事業収入	14,981	5,529	20,510
繰入金収入	4,533	28	4,561

事業種別	介護保険認定調査事業　(松阪･嬉野･飯高)	
事業所名	居宅介護支援事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	－

【目的･方針】
　申請のあった被保険者について心身の状況、その置かれている環境等について調査をします。当該調査にあたっては公平性と客観性の観点から、全国一律の基準に基づき実施しています。

【実施内容】
①認定調査員の健康管理と感染症予防の徹底
②認定調査員の介護支援専門員の資格更新の案内
③認定調査員の意見聴取と意見交換
④認定調査員確保のため、介護支援専門員の資格保持者への周知
⑤認定調査員の研修への案内、通知文章の周知

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	16,632	3,696	1,108	21,436
事業活動支出	13,882	3,033	1,877	18,792
差引	2,750	663	△769	2,644

(３)障がい者福祉サービス

事業種別	移動支援サービス事業　(松阪･飯高)	
事業所名	訪問介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	(１)、(２)

【目的･方針】

屋外などで移動が困難な障がい者(児)に付き添い、イベント参加や健康診断、買い物同行など、外部との交流や気分転換などを図りながら、利用者が安全な外出が可能となるよう支援を行います。

視覚障がい者(児)･全身性障がい者(児)･知的障がい者(児)･精神障がい者(児)など居宅介護利用の方が自立した生活が送れるように支援します。

外出できる機会を増やすため、市と協力し、移送サービスと組み合わせた支援なども行いながら、外出意欲につながる関係性の構築を図ります。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した計画書の作成

イ 研修会への参加と伝達講習

③収益改善

相談支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤職員確保

ホームページやチラシによる登録ヘルパーの募集

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	314	340	654
事業活動支出	185	78	263
差引	129	262	391

事業種別	居宅介護事業(松阪･飯高)　※同行援護を含む

事業所名	訪問介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（1）、（2）

【目的･方針】

障がい者に対し障害者総合支援法に則って、利用者が可能な限りその居宅において、自立した生活を営むことができるよう、共に家事や調理を行うなどの介護サービスを提供します。

一人で外出が困難な視覚障がい者が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報提供や、移動援護、必要な援助を行います。

最新の介護技術を習得し、サービスの質の向上に努めます。また、令和 5 年度は新たな加算を算定し、収益改善を図ります。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②収益改善

ア 相談支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得

イ 重度利用者の受入

ウ 特定事業所加算の算定（松阪支所・飯高支所）

③資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した訪問介護計画書の作成

イ 研修会への参加と伝達講習、会議の定期開催

ウ 緊急対応などの救命処置の研修会

エ 苦情発生時の迅速な対応と再発防止への取組み

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤職員確保

ア ホームページやチラシによる登録ヘルパーの募集

イ 職員紹介制度の積極的な活用

⑥職員の労働環境の改善

登録ヘルパーに対する定期健康診断の実施

⑦地域福祉係との協働による地域に向けての活動

地域住民を対象とした在宅介護に関する講演会や介護者教室の開催

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	16,200	6,997	23,197
事業活動支出	11,336	8,391	19,727
差引	4,864	△1,394	3,470

事業種別	生活介護事業　（嬉野）	
事業所名	生活介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（１)、（２）

【目的･方針】

障がい者に対し障害者総合支援法に則って、利用者が可能な限りその居宅において、自立した生活を営むことができるよう介護サービスを提供します。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した計画書の作成

イ 研修会への参加と伝達講習

ウ 定期的な虐待防止のアンケート調査

③収益改善

相談支援事業所･特別支援学校への空き状況周知による新規利用者の獲得

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP 作成

⑤関係機関との連携や協力体制の強化

地域との交流

【事業活動収支(千円)】

	嬉野支所
事業活動収入	49,953
事業活動支出	49,099
差引	854

事業種別	就労継続支援 B 型事業　（松阪･嬉野･飯高）	
事業所名	えみわーく･嬉野ゆうゆう･飯高じゃんぷ	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（１)、（２）

【目的･方針】

一般就労が困難な障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように就労の機会を提供します。また生産活動や生活訓練などを通じて、個々の活動の場の拡大および個々の能力を最大限に引き出し維持、向上するよう支援します。

新規利用者を獲得し収益改善を図ります。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上
　ア 利用者や家族のニーズを尊重した計画書の作成
　イ 研修会への参加と伝達講習
　ウ 定期的な虐待防止のアンケート調査
③収益改善
　ア 相談支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得
　イ 利用者の能力に応じた作業の提供
④災害対策
　ア 緊急時や災害時を想定した訓練
　イ マニュアルの見直しと BCP の策定
⑤工賃向上
　ア 目標工賃達成指導員配置による工賃向上計画の進捗管理
　イ 作業能力向上の訓練
⑥地域交流
　ア 学校との作品交換展示や文化祭などへの出店
　イ 地域行事への参加
　ウ 嬉野中学校との連携した物品販売

【事業活動収支(千円)】

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	32,677	30,419	37,109	100,205
事業活動支出	35,607	31,573	31,471	98,651
差引	△2,930	△1,154	5,638	1,554

事業種別	多機能型事業(三雲･飯南)	
事業所名	サン･ウイングスみくも、夢風船	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	(１)、(２)

【目的･方針】
　多機能型事業の特性を活かして安定した事業運営を行っていきます。個々のニーズに対して適切な支援を行うため、関係機関との連携を強化しながらサービスを提供していきます。
　また、学校や関係機関と連携し、利用者数や稼働率を上げながら増収につなげます。

【実施内容】
①職員の健康管理と感染症対策
②資質向上
　ア 利用者や家族のニーズを尊重した計画書の作成
　イ 研修会への参加と伝達講習

ウ 定期的な虐待防止のアンケート調査

③収益改善

ア 相談支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得

イ 利用者の能力に応じた作業の提供

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤工賃向上

ア 目標工賃達成指導員配置による工賃向上計画の進捗管理

イ 作業能力向上の訓練

⑥地域交流

地域行事への参加

【事業活動収支(千円)】

	三雲支所	飯南支所	収支計
事業活動収入	46,502	49,787	96,289
事業活動支出	44,978	45,280	90,258
差引	1,524	4,507	6,031

事業種別	日中一時支援事業 （嬉野･三雲･飯南･飯高）	
事業所名	嬉野ゆうゆう、サン･ウイングスみくも、夢風船、飯高じゃんぷ	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（1）、（2）

【目的･方針】

就労支援及び介護者の一時的な休息を目的とし、日中において介護をする者がない場合に一時預かりサービスを提供します。

また、定期的なサービス利用や支援に至っていない方々の居場所や特別支援学校からの受け入れを行います。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上

研修会への参加と伝達講習

③災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

① 収益改善

ア 特別支援学校への周知と連携

イ 関係機関と連携しサービス利用に至っていない障がい者の受け入れ

【事業活動収支(単位：千円)】

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	44	987	7,431	814	9,276
事業活動支出	40	2	1,324	576	1,942
差引	4	985	6,107	238	7,334

事業種別	外部サービス利用型共同生活援助事業　(三雲･飯高)	
事業所名	みくもホーム、はーとりあ飯高	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	(１)、(２)

【目的･方針】

障がい者に対し障害者総合支援法に則って、利用者が可能な限りその地域において、自立した日常生活を営むことができるよう施設での共同生活援助サービスを提供します。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上

ア 利用者や家族のニーズを尊重した計画の作成

イ 研修会への伝達講習

ウ 定期的な虐待防止のアンケート調査

③収益改善

ア 相談支援事業所への空き状況周知による新規利用者の獲得

イ 休日の日中活動･職員配置人数の見直しによる人件費削減

ウ 地域ニーズに応えるため短期入所事業を廃止し、入居者定員を７人に拡大(みくもホーム)

エ 早期に満床になるよう相談支援専門員と連携(みくもホーム)

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

ウ 地域の防災訓練への参加

⑤地域との交流

地域行事への参加

⑥人員の確保

世話人･宿直人の募集

【事業活動収支(千円)】

	三雲支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	11,552	14,088	25,640

事業活動支出	13,934	14,106	28,040
差引	△2,382	△18	△2,400

事業種別	障がい者特定相談事業･障がい児相談事業 （松阪）	
事業所名	福らむ	
経営計画との関連(資料１)	目標	3
	実施内容	（１)、(２）

【目的･方針】

契約からサービス利用に至るまで、またその後の相談支援において一人一人のニーズを詳細に聴き取り、利用者が希望する生活を叶えられるよう支援調整に取り組みます。

複雑で様々な問題を抱えている困難事例が多いため、利用者のニーズをより丁寧に聴き取りながら希望に沿った支援を行います。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策
②利用者及び家族の意向を反映したサービス等利用計画の作成
③サービス等利用計画等の定期的な検証とモニタリング報告書の作成
④利用者それぞれの状況に応じた聴き取りによる支援の構築と再評価
⑤利用者が関係する多機関と連携した情報共有により、利用者が快適にサービスを利用できるよう支援する
⑥相談支援の質の向上のため、研修や相談支援専門員協会での情報収集、意見交換
⑦個人情報の保護、管理の徹底
⑧新型コロナウイルス感染症対策や BCP など、マニュアルの見直しと整備

【事業活動収支(単位：千円)】

	松阪支所
事業活動収入	13,259
事業活動支出	15,045
差引	△1,786

(４)その他の福祉サービス

事業種別	福祉有償運送事業(松阪･飯高)	
事業所名	訪問介護事業所	
経営計画との関連(資料１)	目標	1
	実施内容	（１）

【目的･方針】

新型コロナ感染症に留意しながら、通院手段に困っている方の援助(自宅から病院ま

での移送、乗り降りの介助など)や、透析などの頻回な定期通院が必要な利用者の支援を行います。

訪問介護事業との併用により収益の向上を図ります。

【実施内容】

①職員の健康管理と感染症対策

②資質向上

ア 交通安全運転講習の受講

イ 研修会への参加と伝達講習

ウ 車両点検

エ 運行管理者の責務と乗車記録の整備

③収益改善

訪問介護や院内介助など他のサービスとの併用

④災害対策

ア 緊急時や災害時を想定した訓練

イ マニュアルの見直しと BCP の策定

⑤松阪市の交通施策の状況把握や関係機関との情報共有

【事業活動収支(単位：千円)】

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	14	33	47
事業活動支出	19	3	22
差引	△5	30	25

資料１

松阪市社会福祉協議会　第Ⅴ期 経営計画体系図

使命	経営理念	組織運営方針	目標（※〈 〉内は実施主体）	5年後の姿（社協はこうなっている）	実施内容（何をするのか）
			1　市・社協・地域が一体となりその人らしい生活を送ることができる地域共生社会を実現する 〈 福祉のまちづくり部門 〉	職員が「人づくり」「場づくり」「ネットワークづくり」に基づき、住民主体となる仕組みづくりの構築に取り組み、担い手の負担軽減や集いの場ができている	（1）各地域に合わせた「人・場・ネットワーク」づくりの推進 （2）地域福祉活動計画の進行管理と評価
			2　相談支援・権利擁護支援の専門的機関として個別支援の役割を果たし、仕組みづくりのパイプ役を担う 〈 福祉のまちづくり部門 〉	オール社協で自らの役割・専門性を生かして相談を受け止め、かくれた課題にも気づき、相談支援と地域支援の相互連携ができている	（1）重層的相談支援体制でのネットワークづくり （2）専門的相談支援機関としての充実
			3　魅力ある質の高い福祉サービスを適切に提供することで健全な事業経営、安定した財源を確保する 〈 在宅福祉サービス部門 〉	・収益改善により安定した事業経営ができている ・管理者が経営感覚をもって管理運営ができている	(1)事業所の運営 (2)人材育成
			4　持続可能な事業運営のために経営基盤を強化する 〈 法人経営部門 〉	地域福祉の拠点確保と健全な財務体質が保たれている	（1）拠点施設の運営 （2）危機管理 （3）積極的な自主財源の活用 （4）計画的な財務管理
			5　質の高い福祉サービスを提供するため、人材の採用と定着、育成に取り組む 〈 法人経営部門 〉	各セクションに必要な人員・人材を確保し、働きやすく、働き続けられる職場になっている	（1）多様な人材の確保 （2）働きやすく、働き続けられる職場づくりで職員定着率の向上 （3）人材育成